

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-610	22-073	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
A Dose-Dependent Association between Alcohol Consumption and Incidence of Proteinuria and Low Glomerular Filtration Rate: A Systematic Review and Meta-Analysis of Cohort Studies 飲酒量と蛋白尿および糸球体濾過量低下との量反応関係： コホート研究のシステマティックレビューとメタ解析		
執筆者		
Yamamoto R, Li Q, Otsuki N, Shinzawa M, Yamaguchi M, Wakasugi M, Nagasawa Y, Isaka Y.		
掲載誌		
Nutrients. 2023 Mar 25;15(7):1592. doi: 10.3390/nu15071592.		
キーワード	PMID	
蛋白尿、糸球体濾過量、メタ解析	37049433	
要 旨		
<p>目的：飲酒量と蛋白尿および糸球体濾過量 (GFR) 低下など慢性腎臓病との関連についての報告は一定していない。システマティックレビューによりこれを検討する。</p> <p>方法：11 コホート、1400 万人のシステマティックレビューにより、飲酒量と蛋白尿および GFR 低下の関連を検討した。</p> <p>結果：非飲酒者に比べて、アルコール 1 日 12g 未満の飲酒者では蛋白尿発現リスクは低かった (相対危険 0.87) だったが、36-60g の飲酒者では高く (1.09)、J 字型の関連だった。GFR 低下リスクは、12g 未満で相対危険 0.93、36-60g で 0.86 と低下し、飲酒者では GFR 低下リスクが低くなっていた。</p> <p>結論：非飲酒者に比べ、軽度飲酒者では蛋白尿発現と GFR 低下のリスクは低く、多量飲酒者では蛋白尿発現リスクが高かった。</p>		